

# 環境県民フォーラムだよ！

VOL.22 2008年9月20日 発行

## <本年度の総会が開催されました>

去る4月25日、県文化会館で奈良県環境県民フォーラムの平成20年度総会が開催されました。

総会では、昨年度事業報告の後、本年度の事業計画・予算が承認されました。

総会後には、川上村の「森と水の源流館」館長の辻谷達雄氏をお招きし、「森林と環境」という題目で記念講演をしていただきました。辻谷氏は、半世紀以上にわたり林業に従事され、林業の盛衰とともに人と自然の関わりが変化している様子をご自身の体験談を交えて話されました。



辻谷氏が生まれ育った川上村は、500年という吉野林業の古い歴史と「吉野川」の源流の地という特色を持ち、長きにわたり林業が村の主要産業として営まれてきましたが、安い輸入材の増加により、近年木材価格が低下し、また林業従事者の高齢化等による林業生産活動の減退がおこっています。

しかし、森林は、建材などといった物質資源だけでなく、きれいな水・空気などをつくる環境資源としての側面も持っており、本県の森林が持つ公益的機能の評価額は約8,300億円もあるそうです。

辻谷氏は、「昔、人は自然との共生の中で文化をつくってきましたが、近代化とともに人は自然を支配しようとしています。そんなことをすれば、自然からシッペ返しができることを忘れて…」という考

えのもと、源流を通して自然と私たちの関わりをみんなと一緒に考え、行動し、その体験から一人ひとりが答えを見いだしていく「源流学」の取り組みを下流の都市部の住民も巻き込んで行っておられます。

また、未来を担う子どもたちを対象に、本物の自然の体験を通して自然の怖さ、大切さを実感してもらおう「達ちゃんクラブ」を開催されており、その内容を紹介されました。

最後に、吉野杉の間伐材から作られた割り箸が配られましたが、辻谷氏は日常生活の中でこういった製品を使うことが吉野林業を応援することになり、ひいては県の環境保全につながりますと話され、参加者は改めて意識を新たにしました。

(事務局 野玉)

## 「菜の花プロジェクト」だよ！ 連作障害も何のその！今年も大豊作！

奈良市北永井フィールドでの菜の花栽培は3回目の収穫を終了しました。7月17日に菜種油の試食会を行い、3巡目の成果を発表しました。連作障害を心配してのスタートでしたが、北永井フィールドはなんと110kgの収穫がありました。去年よりも10kg多いということで、肥料をしっかりとやっていたら3年間は収穫できることが立証できました。御所・天理・田原本・桜井などフォーラム関連団体の菜種収穫合計は260kgになりました。2巡目からは大和の国・菜の花エコプロジェクトとして、奈良市北永井(宙塾)、田原本町(ほっとねっと)、天理市(環境市民ネットワーク天理)などでフォーラムの同実行委員が栽培に成功しました。また、御所市未来の環境を考える会(御所市からの協力要請を受け、菜の花フィールドのアドバイザーとして宙塾やほっとねっとが協力)は、保育園・小学校・寺院などを含めた7フィールドで菜の花を栽培するほどに発展しています。一方、同実行委員のならこぼも2年目か

らは各自に菜の花エコプロジェクトを立ち上げ、県内3ヶ所(奈良市、生駒市、川西町)に菜の花フィールドを広げ、配送車にバイオ燃料を使用し、廃食用油回収を店舗で実験的に行うなど、奈良県の菜の花プロジェクトを力強く牽引しています。

新聞やラジオ番組などでも数多く取り上げられ、同プロジェクトを県内に知らしめ広げるとともに、フォーラムの存在を世間に大いにアピールできたという点でも、その功績は大きいのではないかと自負しております。これもひとえにフォーラム会員はじめ皆様のご協力の賜物と感謝し、お礼申し上げます。



#### 4巡目から自然環境分科会の事業に

5月に行われた10人委員会で、菜の花プロジェクトの今後の展開について話し合われました。フォーラムの菜の花プロジェクト実行委員らが中心となって、各団体が地域で活動を始めたこと、それと同時に県内各地でも広がりを見せていること、さらに今年11月には植樹バスツアーへ菜の花プロジェクトから製成したバイオ燃料を提供する方針が決まったことなど、全体事業としての節目がつくということで、4巡目からは全体事業から、自然環境分科会の事業に移行することになりました。今後は自然環境分科会を中心に、各団体が緩やかに連携を保ちながら、その地域の特色を生かした独自の循環型社会のモデルとして地域に根付いてくれるよう、協力していきたいと思っております。引き続きご協力をお願いいたします。

(菜の花プロジェクト実行委員長 黒飛)

## 分科会報告

### ●水分科会

7月26日、葛城川の源流及び葛城川河川敷にて「川の教室」を開催しました。



今回は、御所市婦人会及び大阪府八尾市からも参加があり、およそ100名の参加者がありました。

午前の部では、葛城川源流探索として上流へバス3台で出発し、葛城川合流部(かもきみの湯付近)、高天彦神社及び祈りの滝(水越川)を訪れました。

それぞれの場所で、中田先生(元葛城小学校長)より葛城川にまつわる歴史などの話を伺いました。

暑い中にもかかわらず参加者の皆さんは、説明に聞き入っていました。特に「祈りの滝」付近での川遊びでは、子ども達の楽しそうな姿が見受けられました。

水が大変きれい、また水量も豊富で下流部とのギャップを感じさせられました。

昼食は、御所市婦人会の皆さんの協力を得てカレーライスが振舞われました。おかわりが続出するほど人気で、皆さん満足されていました。

昼食が終わるとすぐに御所市婦人会より水質実験を兼ねた楽しい「ミニ劇場」が行われました。わかりやすい話で、アクリルタワシの効果が確認できました。

午後の部では、葛城公園横河川敷にて谷先生(環境科学博士)による川の生き物観察会が行われました。谷先生のテンポのよいお話に、子ども達は笑顔を見せながら聞き入っていました。

子ども達の一番の関心は、何と言っても「川に入った生き物採り」です。天候も良かったので、心地よい水の感触を味わいながら、一生懸命に魚や水性昆虫などを網ですくい採っていました。

その後、採ってきた生き物の解説がありました。オス、メスの見分け方などの話や観察クイズで盛り上がりました。私も、この葛城川に数回来ておりますが、水質も変わらずきれいな状態なので、ぜひこのまま維持してほしいと強く感じました。  
(東洋スクリーン工業 阿部)

### ●ゴミ減量・リサイクル分科会

10月には「環境にやさしい買い物キャンペーン月間」です。

これは一人ひとりが日常の買い物で、下記の実践行動に取り組むことを事業者とともに呼びかけるものです。

今年度は、「レジ袋削減」を重点項目として位置づけ、右図の啓発ポップをスーパー等のレジ横で掲示し、レジ袋削減を呼びかけますので、ご協力をお願いします。

また、県の環境情報サイト「エコなら」内 (<http://www.eco.pref.nara.jp/forum/eco-shopping>) で、キャンペーン参加店舗の取組を紹介いたしますので、こちらへのアクセスもよろしく願いいたします。

#### 環境にやさしい買い物キャンペーン で呼びかける消費者の実践行動の内容

- ①「買い物袋の持参」
  - ・マイバックやふるしきを持参し、スーパーなどでレジ袋をもらわない
- ②「環境配慮型商品の選択」
  - ・環境ラベル(エコマーク、グリーンマークなど)のついた商品を買う
  - ・リサイクル材を原料とする商品(再生トイレットペーパー、ノートなど)を買う
  - ・中身の詰め替え可能な商品を買う
- ③「簡易包装への協力」
  - ・農産物などのはだか売り商品やはかり売り商品を買う
  - ・贈答品などについても過剰包装を断る

※環境にやさしい買い物キャンペーンは、県内の百貨店、スーパー、商店街、コンビニなどの参加を得て、奈良県と奈良県環境県民フォーラムが共同で実施します。



(事務局 野玉)

### ●自然環境分科会

#### 自然環境講座お知らせ 奈良公園のシカがピンチ!

24時間体制でシカのお世話をしていただいている奈良の鹿愛護会の皆さんの目からみた、奈良公園のシカの深刻な現状と問題点を学びます。私たちに何ができるのか、どうしたらよいのかを一緒に考えてみましょう。

日時：平成20年11月15日(土)

13:00~15:30

講師：奈良の鹿愛護会 事務局長 池田佐知子氏

対象：高校生以上の一般市民 約30名

参加費：無料

申し込み・お問い合わせは：フォーラム事務局まで

TEL / 0742-27-8732

E-mail / [kankyo@office.pref.nara.lg.jp](mailto:kankyo@office.pref.nara.lg.jp)

8月23日(土) 冒険遊び場「ひーとびーとの森」(宇陀市榛原区八滝)で火おこしから始める野外料理を楽しみ、自然観察や水質調査を実施する「自然体験講座」を開催する予定でしたが雨のため残念ながら中止となりました。

# エコな～らライフ宣言のご案内

「エコな～らライフ宣言」とは？

奈良県環境県民フォーラムが実施するCO<sub>2</sub>ダイエットキャンペーン事業です。地球温暖化の原因となるCO<sub>2</sub>を少しでも減らすため「家庭で取り組める省エネ行動」を宣言し実施していただくものです。

- ・みなさんからの宣言量に応じて「苗木」が社会福祉施設へ寄贈される仕組みになっています。
- ・みなさんの宣言量を集計し10な～らで1本の苗木を植樹します。
- ・11月8日(土)に植樹バスツアーを計画しています。

宣言された方に上記植樹バスツアーをご案内いたします。

みなさんの取組宣言により「緑」を増やして、どんどんCO<sub>2</sub>を削減しましょう。



## 宣言方法は2通り

1. ホームページから宣言

[<http://www.eco.pref.nara.jp/sengen/>]

2. チラシの裏面に記入してFAXで送信

[詳細についてはフォーラム事務局まで]



## 奈良県環境保全功労賞 及び 水・土壌環境保全活動功労者表彰について

環境の保全と創造に関する活動に対し、特に功績のあった者を奈良県知事が表彰する「奈良県環境保全功労賞」の本年度の表彰式が6月9日(月)行われました。

また、水・土壌環境の保全に関し顕著な功績のあった団体及び個人に対し、環境省水・大気環境局長が表彰する本年度の「水・土壌環境保全活動功労者表彰」の伝達式が6月3日(火)行われました。フォーラム会員の被表彰者は下記のとおりです。

### ●奈良県環境保全功労賞

名称	代表者名	表彰理由
環境市民ネットワーク天理	代表 佐藤 孝則 氏	市民・行政が協働した天理環境フォーラムの開催、布留川における多自然型川づくり、自然観察会、清掃活動などの取組を通じ、市民等への環境問題の啓発活動及び実践活動を幅広く推進したことが評価されました。
桜井市生活学校	委員長 小杉 弘子 氏	地元靴下産業の端材を活用し、誰でも、簡単に楽しく環境保全に貢献できるツールとして「さくらエコたわし」を創作し、洗剤がいらぬ「たわし」として、普及活動を展開したことが評価されました。

### ●水・土壌環境保全活動功労者表彰

名称	代表者名	表彰理由
御所市地域婦人団体連絡協議会	会長 中島 祐子 氏	環境美化運動、特に葛城川での清掃活動により水質および河川の環境改善に寄与している。また、大和川清流ルネッサンス活動の一環として行なわれている啓発活動により、小学生などへの環境活動の推進を図り、アクリルたわし講座及び普及活動を県下一円で開かれるイベントで実施するなど、水環境保全の普及啓発及び河川の水質保全に貢献している。

編集・発行：奈良県環境県民フォーラム10人委員会

〒630-8501 奈良県奈良市登大路町30番地 奈良県環境政策課内 TEL:0742-27-8732 E-mail:kankyo@office.pref.nara.lg.jp